

# 臨床医が必要とする免疫学 — 基礎免疫学からワクチン応用へ —

## <概要>

2019年より始まったCOVID-19の世界的な流行により、国民の日常生活は今もなお大きな打撃を受けています。これに伴い、感染応答やワクチンに対する関心も高まっています。実際にワクチン接種・開発が国内外で進んでいく中で、基礎研究者だけではなく臨床医にとっても正しい免疫学的な知識を持って診療にあたる必要が生じています。そこで、第50回日本免疫学会学術大会において、免疫若手アカデミーからは「臨床医が必要とする免疫学」と銘打ち、基礎的な免疫学と共に臨床に必要なCOVID-19の知識やワクチンの現状について、免疫学の専門家による分かりやすい内容での講義を開催いたします。

自然免疫・獲得免疫応答を含む免疫学の基礎的な内容については理化学研究所・小安重夫先生が、RNAワクチンや最近のワクチン開発の現状および動向については東京大学・医科学研究所・石井健先生により、初めて免疫学について学ぶ人にも分かりやすく、40-50分間ほどの講義をして頂く予定です。また講演後にはオンラインでの意見交換会も予定しております。第50回日本免疫学会学術集会の参加者はどなたでも参加可能ですので、皆様ぜひ奮ってご参加ください。

## <開催日時>

**2021年12月9日（木） 19:00～21:00**

（講演終了後に1時間ほど意見交換会の開催も予定しております）

## <開催形式>

**ハイブリッド形式（現地・オンラインのどちらでも参加可能）**

**会場：奈良春日野国際フォーラム 薔~I・RA・KA~ Room C（本館2階 会議室3+4）**

## <講演プログラム>

**小安 重夫 先生**

日本免疫学会理事長、国立研究開発法人 理化学研究所理事  
「感染症と闘う免疫システム：入門編」

**石井 健 先生**

東京大学医科学研究所 感染免疫部門 ワクチン科学分野 教授  
「DNAとRNAで作るワクチン；有効性と安全性を確保して100日で世界に提供するには」

オーガナイザー：免疫若手アカデミー 佐藤尚子(理研)・三宅健介(医科歯科大)

## <問い合わせ先>

第50回日本免疫学会学術集会 運営事務局

〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原2-14-14 新大阪グランドビル6F 株式会社エー・イー企画内

TEL：06-6350-7163/FAX：06-6350-7164/E-mail：jsi2021@aepian.co.jp